

月刊 はあとふるあたご

9月 第25号

<発行>平成19年9月1日

<発行元>〒951-8051 新潟市中央区新島町通三の町 2284番地 <発行者>木村 淳

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(228)5000(代) FAX 025(228)4000



「食の第三者評価 実施風景」

(記事 2~3ページ)

目次

食の第三者評価 ······ 2

伊東先生のコラム 第25回 ··· 11

事業所だより ······ 4

編集後記 ······ 12

小林教授のコラム 第3回 ··· 5

初の取り組み！！デイサービスで 食の第三者評価

こんにちは！ 給食委員会の委員長、成田洋子です。

入梅前6月の一ヶ月間、はあとふるあたごが運営するデイサービスセンター8ヶ所において「食の第三者評価」を実施しましたのでご紹介します。

【背景】

入浴やリハビリ、レクリエーションなどとともにデイサービスセンターにおける重要なサービスである「お食事」については、去る平成17年10月の介護保険法改正に伴い、保険外、つまり100%お客様の自己負担となりました。

以来、はあとふるあたごでは、給食委員会が中心となり、安全でおいしい食事、選べる食事、楽しい食事のご提供に努めてまいりました。

【目的】

- ①普段ご提供している食事について、いつも召し上がっているお客様以外の“第三者による客観的な評価”を受けることにより、現状を正確に把握する。
- ②評価によって明らかになった課題を解決することにより、よりご満足いただける食事の提供を実現する。
- ③“第三者評価を食事に取り入れて改善するプロセス”を外部に公開することにより、はあとふるあたごのサービス向上への取り組みの一端をお知らせすることなどが狙いです。

【評価をお願いした方々】

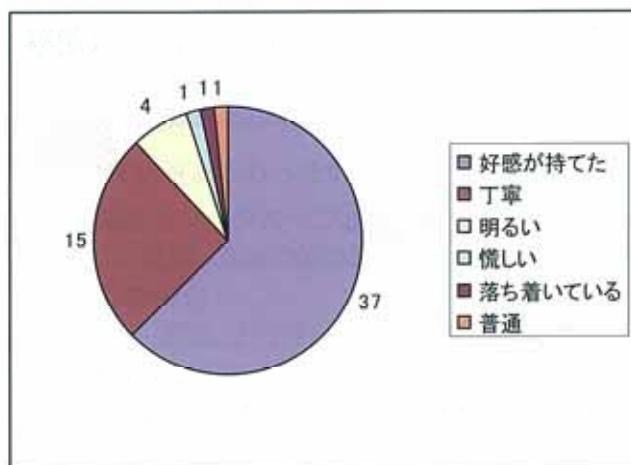
デイサービスをご利用いただいているお客様のご家族様、お客様の担当ケアマネージャー様、デイサービスセンターのご近所様、ボランティア様等々、総勢50名の方々にご参加いただきました。

【評価の結果】

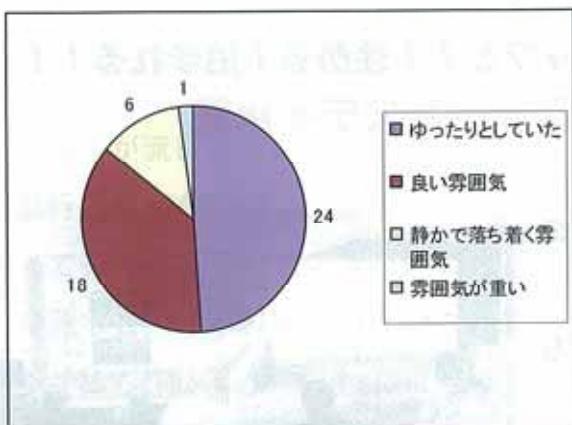
ご参加いただきました皆様に、お食事後にアンケートへの記入をしていただきました。

(複数回答あり)

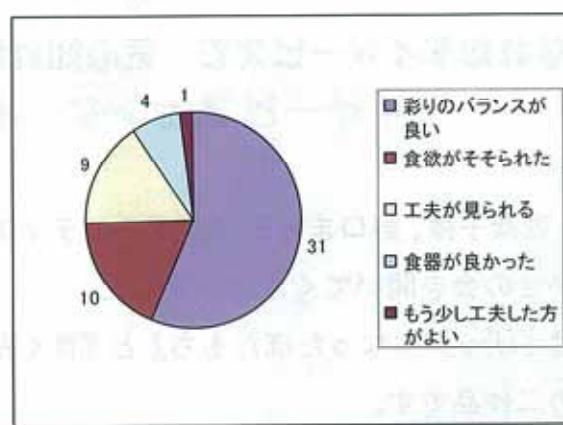
1. 職員の対応はいかがでしたか？（挨拶、言葉遣い、提供マナー等）



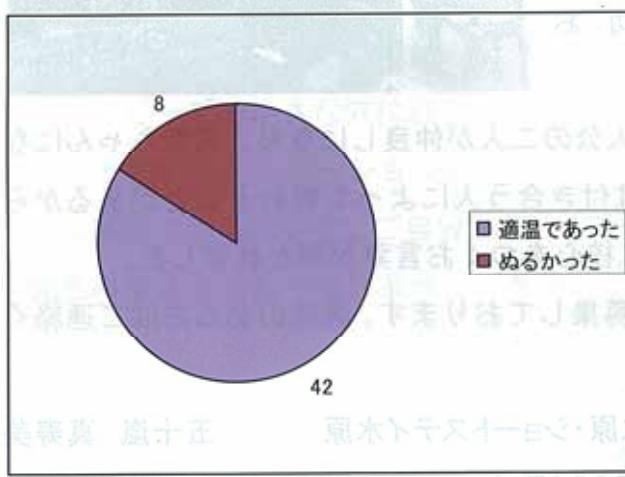
2. 食事時間の雰囲気はいかがでしたか？



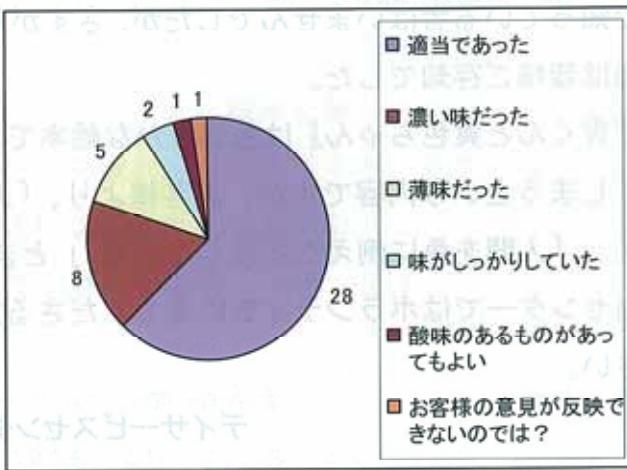
3. 盛り付け方はいかがでしたか？（彩り等）



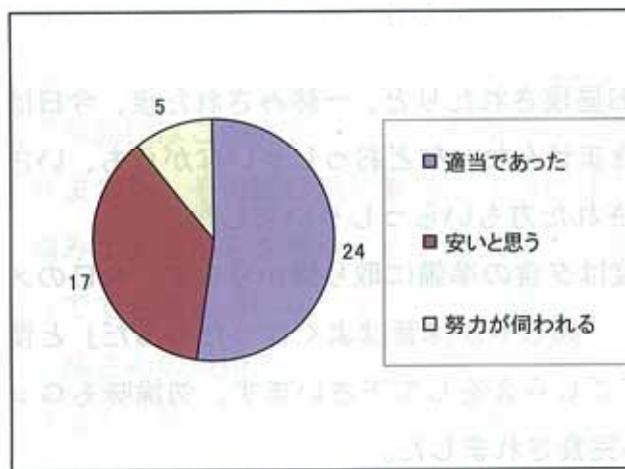
4. 食事の提供温度はいかがでしたか？



5. 食事のお味はいかがでしたか？



6. 現在、お食事の代金は1食当たり、450円とさせていただいております。食事をされてみて、金額に関する意見をお聞かせ下さい。



7. その他、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ・全体的に量が多い（7）
- ・ランチョンマットがよかったです（6）
- ・配膳時に説明がありよかったです（3）
- ・BGMがよかったです（3）
- ・献立が選べてよい（3）
- ・TVではなくBGMを流してもよいのでは？（2）
- ・スプーンを使用される方には、洋風な食器を使ってはどうか？
- ・味噌汁のおわんが小さいように感じる
- ・後ろで職員が立っているのが気になった
- ・献立のバランスを見直してもよいのでは？
- ・塩分量がわかるとよいのでは？
- ・レストラン以上の雰囲気でした

【今後に向けて】

今回の評価結果をもとに、さらにお客様に楽しいと感じていただけるような食事を提供してまいります。
今後も食の第三者評価へのご理解、ご協力をよろしくお願ひ致します。

事業所だより

通いなれたテイサービスで、気心知れたスタッフと！！住める！泊まれる！！ テイサービスセンター水原・ショートステイ水原

先日、堀恭子様、野口まり子様がボランティアで絵本の読み聞かせの会を開いてくださいました。

お話は『げっつになったぼたもち』と『青くんと黄色ちゃん』の二作品です。

『げっつ』とは方言でカエルのことだそうです。若い職員で知っている者はいませんでしたが、さすが年の功。お客様は皆様ご存知でした。



『青くんと黄色ちゃん』は色彩豊かな絵本で、主人公の二人が仲良しになり、黄緑ちゃんになってしまふという内容ですが、お客様より、「人間は付き合う人によって変わることがあるからねえ。」「人間を色に例えたお話なんだね。」とまさに核心をつくお言葉が聞かれました。

当センターではボランティアに来てくださる方を募集しております。興味のある方はご連絡ください。

ディサービスセンター水原・ショートステイ水原 五十嵐 真寿美

電話 0250-62-8888(デイ) 0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

グループホーム五泉

★グループホームのある日★

昼食後、皆さん思い思いにTVをご覧になつたりお昼寝されたりと、一休みされた後、今日は『塗り絵』を楽しまれました。「わからねな～」「できませんわ」などおっしゃいながらも、いざ始められると皆さん熱中され、2時間で3枚も完成された方もいらっしゃいました。

その後、おやつを召し上がり一休みされると、今度は夕食の準備に取り掛かります。今日のメニューは『ご飯・味噌汁・肉じゃが・酢の物』です。「肉じゃがは昔はよく作ったもんだ」と慣れた手つきで下ごしらえをして下さいます。勿論味もG.O.Dで、皆さん完食されました。



日々、お客様と楽しみながら、様々な事を教えていただき、今日この日がお客様にとっても私たちにとっても輝ける時であることを喜んでいます。

グループホーム五泉

長谷川 恵美子

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

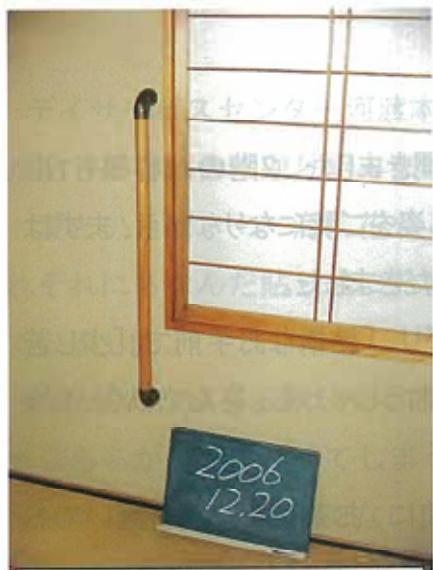
小林教授のコラム 第3回

新潟医療福祉大学 小林量作

中越沖地震と「ありがたいてぇーて」

3年前の中越地震のときに関西から避難所に応援に来ていた保健師さんが、新潟の人はいろいろと支援してもらって「ありがたい、ありがたい」というけど、関西だったら「あれも足りない、これも足りない」と苦情ばかりくるといっていました。今回の中越沖地震のテレビを見ていても、高齢者の「ありがたいてぇーて」という越後弁での語調が現場の雰囲気を伝えてくれます。一般に越後の人々は自己主張が少なく我慢強いと、時には短所として使われることがあります。しかし、私はこの感謝の気持ちはとても大切なように思いますし、テレビに映し出される「ありがたいてぇーて」の気持ちの入った素朴な言葉が好きです。決して不満がないわけではないと思いますが、まず、感謝の言葉が口に出るところが新潟県（賢）人らしいのではないでしょうか。長い人生を送ってきた人々は、個人の力ではどうにもならない天候に感謝し、豊作に感謝し、世間に感謝しながら日々の生活を過ごしてきたからでしょうか。支援してもらうことを当たり前と思わず感謝する新潟県の人々は、とても社会をやわらかくしてくれるよう思います。

「福祉用具課」



寝室に手すりを設置したことで、床からの立ち上がりが可能になり、トイレもご自分で行くことが出来ます。

住宅改修では、対象となるご本人様の意欲が大切です。

どれだけ環境が改善されても、ご本人様に使おうとされる意欲がなくては役立ちません。

整備された環境をお使いになられることによって、生活に役に立つことをご本人様に理解していただくことが重要です。できるだけ具体的な利点をイメージされるようにすることで、整備された環境を使いこなそうとされる意欲が高まります。

住宅改修に携わらせて頂く場合には、事前にご本人様の希望やご家族様の希望をお伺いして、ご本人様の意欲を高める環境整備のお手伝いをさせて頂きたいと思います。

お気軽にご相談下さい。

お問い合わせは

福祉用具事業課

柳都大橋 025-228-5002

新発田 0254-23-1173

デイサービスセンター松浜

先日、松浜中学校の1年生から3年生までの約20名の生徒さん達が、課外学習の場として来所され、お客様の皆様と交流されるという素敵な機会がありました。

初めに、あの有名な「千の風になって」の物語を朗読して下さいました。皆様、歌はご存知でしたが、物語があったという事はご存知なかったご様子で、興味深そうに朗読を聞いていらっしゃいました。「千の風になって」の合唱では、お客様も一緒に歌われ、あたかもその場にいた全員の気持ちが一つの輪になったようでした。



その後、お客様と生徒さん達が交互になって座り、ワイワイガヤガヤ、老いも若きもにぎやかに、おやつを楽しみました。生徒さん達が帰られた後も、皆様口々に「楽しかったね」「元気をもらったね」と、とても喜んでいらっしゃいました。

松浜中学校の生徒の皆様、引率の先生方、ご父兄の皆様、ボランティアの佐藤様、須貝様、本当にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

デイサービスセンター松浜

石崎 徳幸

電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

グループホーム新津

★ミニお茶会を開きました



7月25日、ミニお茶会を開きました。2階のお客様も1階へ集合され、職員の点てる姿をご覧になりながら、まずはお菓子を召し上がっていただきました。

皆様もお抹茶を召し上がり、「結構なお手前で」「少し苦いね」等、様々な御感想をおっしゃって、喜んでいらっしゃいました。

ご経験のあるお客様の前に、お茶碗と茶筅を置いてお声をかけると、さすがのお手前でいらっしゃいました。皆様から「上手にお茶、点てていましたね」と声をかけられると少し照れいらっしゃいました。

日本文化に触れながら、皆様と楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

グループホーム新津

土田 恵子

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンター横越

7月10日、外出レクリエーションとして、『ふるさと村&朱鷺メッセ』へ行ってまいりました。

ふるさと村では、ふるさと資料館をご覧になって、昔の生活様式や新潟の歴史を懐かしく感じられたり、ご自宅にお土産でしょうか…買い物も悩みながらも楽しんで選ばれたりされていました。昼食もふるさと村内のレストランでおいしくいただきました。

その後、朱鷺メッセの展望台へ行きましたが、あまりの高く立派な建物に驚かれ、また、すばらしい眺めに感激されました。

ふるさと村も朱鷺メッセも初めて行かれたお客様が多く、「来て良かった。」「楽しかった。」「こんな機会がないと出かけられない。楽しかったよ。」など、思い思いに1日を楽しまれたご様子でした。

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236



デイサービスセンター河渡本町

デイサービスセンター河渡本町では「夏！」をテーマにした貼り絵の制作に取り組みました。

夏といえば・・・海！花火！夏祭り！ということで、それぞれにちなんだ貼り絵にお客様は一生懸命に取り組まれていました。

貼り絵の作成をお願いすると、疲れてしまうのではないかとこちらが心配になってしまふほど熱心に取り組まれるお客様や「手が思うようではないから」と他のお客様と役割を決めて取り組まれるお客様中は笑顔も見られ、皆様楽しそうでした。



そして見事完成した作品は本当によい出来栄えで、センター内は夏ムードが高まっています。8月には夏祭りもあり、夏祭りの準備もお客様と共にしていく予定です。

デイサービスセンター河渡本町

米内山 寛規

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター柳都大橋

7月のイベントとして、朱鷺メッセの展望室へ外出レクリエーションに行ってまいりました。

朱鷺メッセはセンターから柳都大橋を渡るとすぐにある、高い建物です。送迎の車の中から、「あれ、何?高い建物だねえ~」とよく聞かれます。通ったときに良く見るけれど行った事のない方が多く、朱鷺メッセに行くことになりました。

展望室は31階にあり、そこから新潟市をぐるっと見渡す事ができ、晴れた日には佐渡も見えます。「わたしの家はあっちのほうだね」「こんないい所が新潟にあったんね~」

展望室からはデイサービスセンターも見て、「あそこからここまで来たんだね~」と驚かれている方もいらっしゃいました。

他にも、近くにあるけれど足を運んだことのないところがたくさんあるので、これからもこういった行事を企画してお客様に喜んでいただきたいと思います。

デイサービスセンター柳都大橋

小林 恵

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

デイサービスセンター坂井東

★あしたばカラオケの会

西地区コミュニティセンターで練習されている「あしたばカラオケの会」の皆様が来てくださいました。2人ずつメンバーの方がカラオケを披露してくださいり、歌詞カードを見ながらデイサービスセンターのお客様達も一緒に歌われました。

「やっぱり上手いわねー。私たちと違うわね。」と皆様感心されておりました。



千昌夫の「星影のフルツ」や「ひばりの歌」など披露して頂き、アンコールでは、「川の流れのように」を2回も一緒に歌わせて頂きました。

今日は、センターがカラオケボックスになったような気分でした。

あしたばカラオケの会の皆様本当にありがとうございました。

デイサービスセンター坂井東

五十嵐 陽子

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

デイサービスセンターさかえ

今、デイサービスセンターさかえでは、『ビーズ飾り』作りが流行っています。

流行のきっかけは、大正琴のボランティアの方が持つて来て下さった、いくつかの作品でした。とても綺麗なビーズ飾りを、お客様にお見せしましたところ「私も作ってみたいわ。」という声があり、ボランティアの方に教えていただきながら取り組み始めました。



ご家族様に材料を買ってきていただき、ご利用の際、毎回取り組んでおられる方もいらっしゃいます。ビーズの小さな穴に紐を通す作業は、手先を使うと共に精神を集中させるようです。そのため午後のレクリエーションのあとは、皆さま少しお疲れのご様子ですが、完成されると嬉しそうに眺めておられます。ご自分で作ったビーズ飾りはデイサービス用のバッグにつけて完成！今後もみなさまと色々な作品作りにチャレンジしていきたいと思っております。

デイサービスセンターさかえ

梅本 育代

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

「居宅介護支援センター」

★頑張りすぎず・あきらめず

93歳のM様は4年前、脳梗塞で入院され医師から「もう歩けません」とリハビリもないまま退院になりました。左片麻痺と両膝の痛みで着替えや移動も介助が必要でした。

ご家族様はご商売をされている為、週4回のデイサービスと月4日間のショートステイを利用されました。その間に訪問看護でリハビリを継続されました。

痛みがあるから大事にするのではなく、徐々に動くことにより痛みはなくなり、日常生活がご自分でできるようになりました。介護度も4から2になったのです。

お孫さんの結婚式にも参列されました。

今日も、杖歩行でデイのバスに乗り、笑顔を見せてくれます。

家事ができるとまではまいりませんが「頼らないで自分のことをする」「前向きに生きる」

「おしゃれをする」「家族への配慮をする」などなど……

いろいろな自立の意味を教えていただきました。

居宅介護支援センター柳都大橋

橋本 多賀子

電話 025-228-7700 FAX 025-228-4000

グループホーム三条

ホームの畑では7月初旬よりじゃが芋、8月には枝豆がお客様の手で収穫されました。

特に枝豆は、皆様笑顔で「豆もぎ」され、茹で上がった緑鮮やかな枝豆に塩を振り、会話も弾まれて、和やかな夏のひと時を過されました。

またある日、真っ青な夏空と夏風にそよぐ稻を眺めながらのティータイム時に、一人のお客様が大きくなったブルーベリーの実を見つけられました。



数えたら10粒しかありませんでしたが、ひと粒ずつのブルーベリーを皆様は、手のひらにのせられて、「いとおしそうに」お口に・・・。そのお味はびっくりするほど甘かったそうで、「初めて食べたよ」と嬉しそうにされていました。

グループホーム三条

渡邊 美奈子

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

訪問介護ステーション

今回は介護保険に含まれないお仕事についてお話をします。

- ① ご利用者様の援助でなく、ご家族様の為に行う行為や、ご家族様が行なう事が適当と判断される行為。
- ② ヘルパーが行わなくても日常生活に支障のない行為。
- ③ 日常的に行われる家事の範囲を超える行為。

上記の場合は、介護保険のサービスとしてご利用できることになっております。

例として

- ・家事の手伝いや来客の応接（商品の販売、農作業など）
- ・利用者以外の洗濯、調理、買物、布団干し、利用者が使用しない居室などの掃除
- ・正月や節句などの特別な手間のかかる調理
- ・自家用車の洗車、清掃
- ・ペットの世話
- ・室内外家屋の修理、ペンキ塗り等
- ・大掃除、窓ガラス拭き、床のワックスがけ
- ・草むしりや植木の選定などの園芸、花木の水やり
- ・家具や電化製品などの移動、修繕、模様替え
- ・などなどが挙げられます。

訪問介護ステーション

川崎 裕子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

伊東先生のコラム 第25回

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

食物汚染から身を守る

最近、中国の食物汚染が話題になっていますね。

これは、以前から日本やアメリカの食品でも同様に言われてきました。

しかし、私たち日本人には強い味方がいます。それは食物纖維です。食物纖維は、一切吸収されること無く排泄されますが、汚染された食物の汚染物質を吸着してくれます。

また、コレステロールや中性脂肪などの体に悪影響を及ぼす物質も吸収して、そのまま便として排出してくれるのです。

昭和初期の日本人の食物纖維摂取量は優に15gを超えていました。しかし、食の欧米化が進むにつれて摂取量は減少し現在では5g程度です。さらに、20歳以下の若年層では0.5g以下の人も非常にたくさん居るとの事です。

ファーストフードの食品には食物纖維はほとんど含有されていません。

現在の若年層が壮年期・老年期を迎えるころには多くの問題を抱える可能性があります。

そうしないためにも、そして、無意識で摂取しなければならない汚染物質から身を守るためにも食物纖維をたくさん摂取する必要があります。

食物纖維には水溶性食物纖維と粗纖維とあります。芋や野菜に含まれるのは粗纖維といわれるもので汚染物質吸着作用は低いです。

水溶性食物纖維が非常に有益です。水溶性食物纖維が非常に多く含まれるのは海藻類です。

また、こうした食品の加工品です。

寒天・ゼリー・ところてん・海藻など多く摂取しましょう。こんにゃくに含まれるマンナン・アイスクリームに含まれるゲアガム（増粘剤）も多く含まれます。

サトイモのぬめりも水溶性食物纖維です。

要はバランスの良い和食。これは全てにおいて健康食品であるといえます。

病気にならない体を食から。。。。

ディサービスセンター城北町

夏の花を代表する、あさがお。

昨年、玄関先を飾り好評だったあさがおを、今年は5月に種まきをし、お客様と一緒に育ててまいりました。そのあさがおが、今月威勢よくつるを伸ばし始め、大輪のきれいな花を咲かせました。「こんなきれいな花が朝しか咲かないなんてもったいないね。」とお客様。毎日、愛情を込め水やりされていらっしゃいます。

花壇の手入れやお花の栽培などは、お客様の方がよくご存知です。あさがおの伸びたつるを支柱に巻きつける際、左巻きに巻きつけると良いと教えてくださいました。



淡い色のあさがおを眺めると暑い日も少し涼しく感じられます。

毎朝、「おはようございます」のあいさつと一緒に、玄関先でお客様を迎えてくれる清々しいあさがお。自然とお客様や職員に元気を与えてくれています。

ディサービスセンター城北町

小泉 美咲

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

必要してくれる人がいるから… 自然と笑顔で働ける場所

はあとふるあたごでは、一緒に働く仲間を募集しています。

募集中のお仕事

介護職員・生活相談員・看護師

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

経験者大歓迎です。

育児休業・介護休業取得実績多数あり!

未経験者には各種研修やOJTなど、

安心して働ける職場環境です。

■応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051

新潟市中央区新島町通3ノ町2284番地

(株)はあとふるあたご 採用係

在宅介護の総合サービス

はあとふるあたご

<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

編集後記

今月号は特集として「食の第三者評価」について掲載いたしました。

私もグループホーム勤務なので、調理をすることが多いのですが、その出来には一喜一憂しております。

女性が大多数を占められるお客様の評価は(男性職員が作るということで)かなり「羨目」で見ていただけるのですが、それでも、出来が「今ひとつ」の時は、黙々と召し上がります…。

いつも満足していただけるお料理を目指して、日々精進あるのみです。

<連絡先> グループホーム三条

電話 0256(36)5555 FAX 0256(36)5556

<編集委員>

稻野 正晃(ディサービスセンター坂井東)

古野間 信介(総務部)

南 洋子(居宅介護支援センター河渡本町)

中山 卓(福祉用具センター柳都大橋)

川崎 裕子(訪問介護ステーション)

難波 淳(グループホーム三条)